

式 辞

この冬は、本当に厳しい寒さが続きました。統計によると、過去三〇年の中で四番目に寒い冬であったそうです。しかし、どんなに冬が寒くても、自然の中の生き物は、力強く成長しています。校門の桜のつぼみも大きくなり、春の訪れを告げています。この良き日に、愛西市立立田南部小学校を巣立ちゆく四十一名の皆さん「卒業おめでとうございます」

また、本校の卒業式にあたり、愛西市長様、愛西市議会議員様はじめ、多数のご来賓の皆様にお越しいただいております。高い席からではございますが、心からお礼申し上げます。

「ありがとうございます」

卒業生の皆さん、さきほど一人一人に卒業証書をお渡ししました。皆さんが今手にした卒業証書には、小学校六年間の歴史と努力のあとが一杯詰まっています。自分自身の頑張りには当然ですが、ご家族の愛情、先生達の指

導、PTAや地域の方々の励まし、これらの積み重ねで手にした卒業証書であることも忘れないでください。

保護者の皆様には、この六年間のご家庭での指導、学校へのご理解・ご協力に対して心からお礼申し上げます。今、お子様から卒業証書を受け取られ、お子様が一段とたのもしく見えたのではないでしょうか。我が子の成長した姿に、十二年間の子育ての思い出が走馬燈のようによみがえったことと思います。お子様が卒業されても、地域のよき理解者として、これまでと同様に本校の教育活動にご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、卒業生皆さんはこの六年間、勉強に運動によく頑張り、みんな立派に成長しました。特に、最上級生としてのこの一年間の活躍は実に見事でした。

青空タイムでの交流活動を中心に、熱心に低学年のお世話をする姿を見て、私は皆さん

の心の豊かを知りました。

運動会や陸上競技会、サッカー・バスケットボール競技会などで目覚ましい活躍をする姿を見て、私は皆さんのたくましさを知りました。

明るくたくましく成長した皆さんは、この立田南部小学校の大きな喜びであり、誇りです。今、新たな決意をもって中学校に進もうとしている皆さんに、最後のお話をさせてください。

この一年は、東日本大震災のことを抜きに語れない一年でした。自然の力とはいえ、これだけの大災害になり、これだけの試練を与えられることになろうとは誰も思っていなかったでしょう。しかし、この震災で私たち日本人の優しさと強さを、再確認できたのではないのでしょうか。大災害が起こっても、暴動は起こりませんでした。人のものを盗んだり奪い合ったりすることはありませんでした。当たり前前のことが当たり前前にできることを幸

せに感じ、みんなそれぞれが、復興のために
できることを考え、行動しました。このすば
らしきは、ブータン国王が国会での演説で、
私たちにあらためて気づかせてくださいまし
た。

そして、暗いニュースや話題が続くときだ
からこそ、みなさんには機会あるごとに、「夢
をもちましよう。できるだけ大きな夢がいい
です。夢を実現するために目標を決め、自分
を鍛えましよう。」と話してきたつもりです。
皆さんと一緒に給食を食べたときは、皆さん
の夢をたくさん聞かせてもらえました。夢を
叶えることは、自分の幸せのためだけではな
く、多くの人や社会のためにもなるのです。

羽生結弦（はにゆうゆずる）というファイギ
ユアスケートの選手を知っていますか。羽生
選手は、東北高校に通う高校生です。地震が
発生した日は、仙台市のアイスリンク仙台で
練習中でした。スケート靴を履いたまま避難
し、そのまま避難所生活を送ることになりま

した。練習場所であるアイスリンク仙台は、地震の被害を受け使えなくなりました。そんなとき、復興目的のアイスショーに出ながら練習を続けないかという声がかかりました。しかし、本人は迷いました。被災した人たちがこんな苦勞しているときに、自分は好きなスケートをやっていていいのだろうか。今は被災地について、できることから活動すべきではないか。いろいろ悩みました。最終的には、まわりの人々の勧めもあり、スケートを続けることにしました。そして、常に被災地の人たちのことを考える優しさと、どんなにつらくても自分に負けない強さをもって、さらに熱心にスケートの練習に取り組みました。くじけそうになったこともあったそうです。そんなときは、携帯電話で撮影した避難所の写真を見て、自分を奮い立たせたそうです。こんな羽生選手の姿を見て、被災した人たち、東北の人たちがたくさん応援するようになりました。そして、昨年十二月に行われた全日

本選手権では総合三位に入賞し、世界選手権の代表に選ばれるという快挙を成し遂げました。被災した人々を含め、たくさんの人々が羽生選手の活躍から勇気と希望をもらいました。

卒業生の皆さんは、四月から中学校に進みます。中学校でも自分の夢に向かって、しっかり心と体と頭を鍛えてください。皆さんが夢に向かって努力すること、夢を叶えることは、多くの人を幸せにします。日本中の人、世界中の人たちを幸せにできるよう、明るくたくましく育ってください。

名残は尽きませんが、四十一名の卒業生の前途に幸多かれと祈って、式辞といたします。

平成二十四年三月十九日

愛西市立立田南部小学校長

小島基生